# ９月大天体ショーが始まる

発行所　岐阜市科学館
〒500-8389
岐阜市本荘3456-41
TEL：058-272-1333
FAX：058-272-1303

## 中秋の名月　今年は満月と同じ日だ！

同じ日になるのはめずらしい？　どーゆーこと？

中秋の名月とは旧暦の８月15日の月のことを指します。「十五夜だから、満月だね」と思う方もいると思います。しかし、この日に満月になるとは限りません。どういうことでしょう。理由は次の通りです。

新月の瞬間から満月の瞬間までにかかる日数を説明の便宜上、平均14.75日（14日と18時間）とします。（実際は13.9日～15.6日の間で変動します。）また、旧暦では新月になる日を必ず一日（ついたち）として数え始めます。ということは新月になる瞬間がいつかということが重要になります。例えば、新月になる瞬間が旧暦の８月１日の午前８時だとします。そこから14.75日進むと満月になりますが、その日は16日の午前２時になります。つまり、中秋の名月は15日ですが、満月は翌日の16日となるわけです。

では、中秋の名月（８月15日）の日に満月となるにはいつ新月の瞬間を迎えればよいのでしょうか。もう答えは出ていますね。先程も書いたように新月の瞬間から満月の瞬間までの日数は平均14.75日、つまり、14日と18時間でしたね。ということは旧暦の８月１日の午前０時から６時までの間に新月になれば中秋の日（15日）中に満月になるという計算です。この計算でいくと中秋の日と満月が同じ日になる確率は24時間分の６時間，すなわち４分の１ということになりますね。（実際には満月の月齢は13.9日～15.6日の間で変動するので、その年毎の中秋の一日の新月の時刻と満月の月齢によって中秋に満月になるかならないかは決まってきます。）確率的には低いのですが今年は同じ日です。９月21日（火）ですよ。

さあ、空気も澄み渡り、ちょうどよい高さに上ってくる満月を愛でましょう。

## 超人気番組の紹介コーナー「星の王子さま」

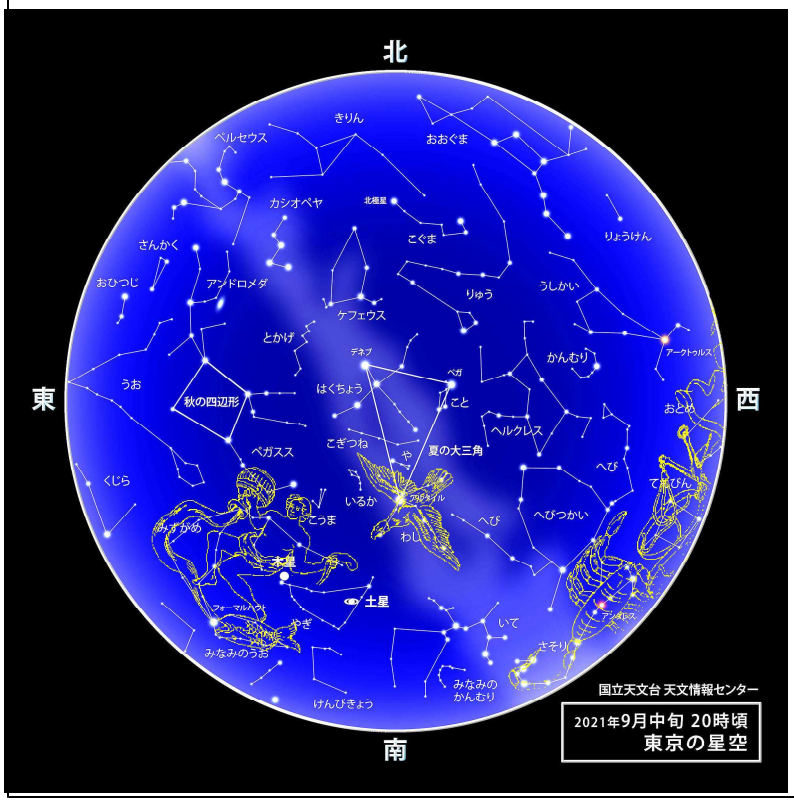
今回は「星の王子さま」の紹介です。内容は、主人公の「僕」が王子さまとの出会いで見つけた目には見えない大切なものが何であったのか、見つけたものはこの番組を見た人個々によって異なります。

さあ、あなたは何を見つけるでしょうね。サン＝テグジュペリが描いた永遠の名作。あなたも目には見えない大切なものを探しにいきませんか。９月14日から。

## 神話と星座の位置関係考！

星座神話には星座が単独では登場しません。必ず２つ以上で登場します。しかも、それら神話の中身と実際の夜空での位置関係が結構面白いものがあります。今回はその中から３つほど紹介をしましょう。

まずは「わし座（夏）」と「みずがめ座（秋）」です。前号でも触れましたが、わしに姿を変えたゼウスは、神々の宴会でお酒をつぐ役目をさせるため、トロイの国に住む美少年ガニュメデスを誘拐しました。左の星座絵をご覧ください。あたかもわしがみずがめ座であるガニュメデスを狙っているかのようですね。

つぎに、「おとめ座（春）」と「てんびん座（夏）」です。おとめ座の主人公は正義の女神アストレアです。彼女は人が犯した罪の重さを天秤にかけて量りました。その大切な天秤は彼女に踏んづけられた位置にあります。

最後に「さそり座（夏）」と「オリオン座（冬）」です。オリオンは「自分より強い者はこの世にはいない」と豪語していたため、神々は怒り、オリオンの元へさそりを刺客として送り込みました。ですからオリオンはさそりが大の苦手です。さそり座が空に出ている間はオリオン座は決して同じ空には出ないという、これら二つの位置関係をうまく利用した話となっています。神話を深掘りしていくと面白いですね。